

## (単元) 門出『土佐日記』

## (本時のねらい)

女性に仮託して日記を書いているのはなぜかを考えることができるようにする。

本文中の臃化表現, 滑稽・おかしみの表現について理解し, 『土佐日記』の文章の特色や魅力についてまとめることができる。

本教材が平仮名で書かれた初めての日記文学作品であることを学び, のちの女性による仮名文学隆盛へつながっていくことを理解することができるようにする。

## (ICT活用方法)

『土佐日記』がなぜ女性に仮託して書かれているのかを理解させるために, 臃化表現や掛詞を使ったおかしみのある表現など『土佐日記』の文章の特色を, 電子黒板に投影させて授業を進める。従来はワークシート, 便覧などの資料と板書で説明していたが, 当時の船や地図, 男性が書いていた日記の資料を電子黒板で投影して, 視覚的なイメージをもたせる。また, ワークシートの質問事項と解答を投影して, 授業のポイントをより視覚化してわかりやすく伝える。

## (本時の展開)

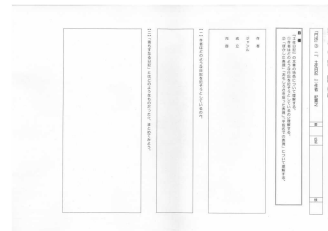
時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法
導入 5分	・前時の振り返りをし, 本時の目標を知る。	・前時にまとめたワークシートを確認させる。	・当時の船旅の様子や, 旅の地図を電子黒板に投影する。
展開 40分	・作者はどのような「日記」を記そうとしているか考える。  ・『土佐日記』の表現の特色について考え, まとめる。  ・当時書かれていた「日記」との違いを考える。仮名文字の表現の特徴を考え, 作者は仮名文字で何を表現しようとしたのかを考える。	・諧謔表現について教科書の脚注を見て考えさせる。  ・臃化表現について例を示して, 考えさせる。	・『土佐日記』の文章の特徴を電子黒板に投影させる。  ・電子黒板に表示された藤原道長の『御堂関白記』を見て考え, ワークシートに記入させる
まとめ	・ワークシートの整理	・ワークシートに記入を	

5分	をして、本時の学習内容を振り返る。	して、『土佐日記』の文章の特色について確認させる。
----	-------------------	---------------------------

(授業の様子)



教材投影方法



使用したワークシート

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

資料やワークシート、授業のポイントを電子黒板に投影することで、生徒の興味関心を高め、理解の助けとなるよう効果的に利用できた。指導者の板書時間が短縮され、生徒の学習活動を観察する時間が増えた。電子黒板の投影では1時間の流れが見えにくくなるので、生徒に配付するワークシートの工夫が必要である。